

※目標値（H31）内の「延べ」は計画期間（5年間）の合計値
 改善・悪化：改善○，維持△，悪化×，未実施-
 達成度：順調A，要改善B，未実施-

総合戦略の具体的施策

①地域で暮らすためのしごとをつくる

(i)基本目標

江田島市生まれの若者や移住希望者の居住地などとして選択されるため、例え小規模であっても地域で暮らすための「仕事」づくりを推進します。

目標指標	基準値 (H26)	実績値		目標値 (H31)
		(H27)	(H28)	
創業・起業の年間件数（件）	3	9	10	12
農・水産業の後継者・担い手の育成（人）	延べ 2	延べ 6	延べ 7	延べ 11

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 農林業の振興

指標名	基準値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
有害鳥獣による農作物年間被害額（千円）	22,585	20,563	20,975	△	A	20,000
《成果と見直し》 防護柵の設置等を推進しているが、有害鳥獣の増加により被害額は前年とほぼ同額で推移している。 今後も、侵入防止柵の設置、鳥獣を引き寄せない圃場への環境改善を中心とした総合的な被害対策の取組強化及び加害個体の捕獲の推進について、生産者への啓発を行うなど、支援制度を維持する。						
農業の後継者・担い手の育成（人）	延べ 2	延べ 4	延べ 5	○	A	延べ5→ 延べ8
【目標値変更理由】 平成 31 年度目標値を達成したため、目標値を上方修正する。						
《成果と見直し》 野菜の研修生を 1 名受け入れた。新規就農者数は順調に増えてきており、施策の効果は出ている。一方、就農時の農地の確保が課題となっている。 地域農業の担い手を育成・確保し、地域農業の活性化を図るため、広報活動等を継続して取り組むとともに、地域農業者と連携して新規就農者の農地の確保を進めていく。						
オリーブ栽培の面積（ha）	22.6	24.6	26.1	△	B	35.0
《成果と見直し》 苗木計画本数 1,500 本に対して苗木申込本数 925 本であり、計画数値には達しなかった。耕作放棄地解消を目的とするオリーブ振興推進補助事業の市民への周知が足りず、十分に活用されなかったため、結果として苗木申込本数が少なかったことが原因と思われる。今後、更なる耕作放棄地の増加が見込まれることから、耕作放棄地への植栽を促進するとともに、オリーブによる積極的な拠点づくりを推進していく必要がある。						

重要業績
評価指標
(KPI)

■施策② 水産業の振興

重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
	かきの大規模消費地への年間共同出荷量(t)	0	0	0	△	B	0
	【変更理由】	0	0	0	未実施	—	100
	<p>大規模消費地への年間共同出荷量については、選別作業等にかかる作業に見合った評価が得られないとの生産者の意見もあり、取り組みを中止した。新たな指標として、鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築(%)を設定する。</p>						
	<p>【変更理由】</p> <p>大規模消費地への年間共同出荷量については、選別作業等にかかる作業に見合った評価が得られないとの生産者の意見もあり、取り組みを中止した。新たな指標として、鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築(%)を設定する。</p>						
	<p>《成果と見直し》</p> <p>今後は、水揚げから出荷までの低温管理を市域全体に普及させるため、「かきの品質管理マニュアル」(広島かき協議会)に準拠した生産現場での管理を推進する。高鮮度のむき身かきを出荷し、新たなブランドの創出を目指す。</p>						
	水産業の後継者・担い手の育成(人)	0	延べ2	延べ2	△	B	延べ3
	<p>《成果と見直し》</p> <p>平成28年度から2名が新規漁業者として就業した。今後、高齢化等により後継者の減少が見込まれることから、国の研修制度を活用し新規漁業研修生の受け入れを行うとともに、後継者、担い手確保のため、水販協や青年部等の担い手グループの活動を支援していく。漁業者数は、平成15年774人、平成20年738人、平成25年646人である。</p>						

■施策③ 商工業の振興

重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
	企業立地奨励制度の申請者数(人)	1	延べ2	0	△	B	延べ5
	<p>《成果と見直し》</p> <p>平成28年度の申請者数は、ゼロであった。今後は、江田島市内に新たなしごとの場を創出するため、廃校などの遊休施設・用地の活用に積極的に取り組むとともに、提供できる施設・用地の条件整理が急務となっている。</p>						
	商工業等振興資金補助金の年間申請件数(件)	29	20	23	△	B	39
	<p>《成果と見直し》</p> <p>中小企業者を支援する視点で、今後も継続して取り組んでいく。また、運転資金と設備資金のみでなく、資本形成につながる資金融資への補助をより厚くするなどの検討が必要である。</p>						
	就職相談会の年間来場者数(人)	30	67	41	△	A	57
	無料職業紹介所相談件数(件)	—	—	417	—	—	540
	<p>【追加理由】</p> <p>単発的に開催される合同求人説明会の指標も必要であるが、島内で企業と求職者を結び付ける「無料職業紹介所」を指標として加え、支援を行いながら、人口減少・しごとの場の創出に努めたい。目標値は、平成28年度を基準として、各年10%の増加を見込み目標年の数値を540とした。</p>						
	<p>《成果と見直し》</p> <p>社会福祉協議会の合同求人説明会は6年目を終えて、利用者に認知されつつある。また、社会福祉協議会では、平成28年4月から市からの補助を受け、無料職業紹介所を開設し、相談件数が417件あった。今後は、市と社会福祉協議会が連携して新規登録事業所の開拓を行うなど、紹介所業務を充実させて、企業と求職者の更なるマッチングに取り組んでいく。</p>						

②交流人口の増加を図り、江田島市との「縁」を有する人を増やす

(i)基本目標

来訪経験者などの増加を図り、江田島市に「縁」を有する人を増やすとともに、移住・定住を支援する体制の構築を図り、安心して暮らし続けることができる生活環境の整備を行います。

目標指標	基準値 (H26)	実績値		目標値 (H31)
		(H27)	(H28)	
年間総観光客数（万人） ※市内外からの観光客の総数	54	54	54	69
定住促進策を利用した移住者数（人）	延べ 229	延べ 246	延べ 269	延べ 379

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 観光の振興

重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	体験メニュー数（プログラム）	6	12	13	○	A	9→15
	【目標値変更理由】 体験メニュー数（プログラム）は、観光協会と協力し、新規体験メニューを開発し、平成31年度目標値（9）に達成したので、目標値を上方修正（15）する。						
	《成果と見直し》 今後は、各体験メニューの効果検証を行った上で、内容を精査し、「体験する観光」の推進に向け、観光協会等と連携しながら、体験メニューの開発に取り組む。						

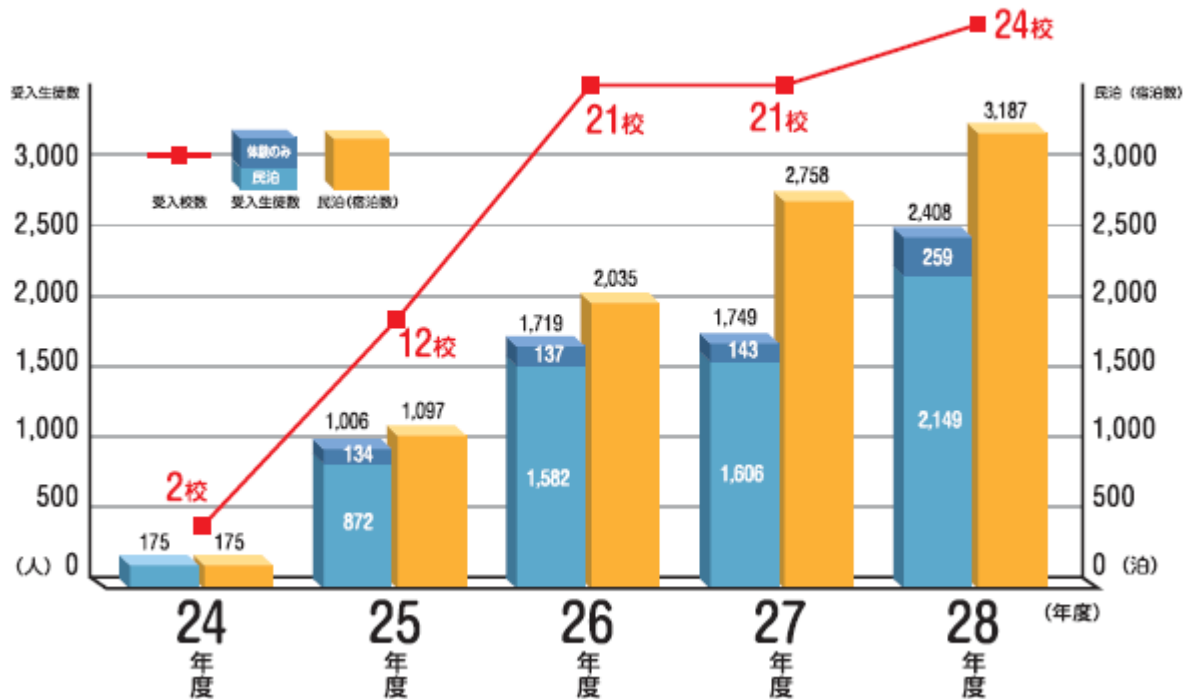
■施策② 都市基盤の整備

重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	市道の整備延長（m） ※市道総延長 281km	単年 218	単年 403 延べ 403	単年 242 延べ 645	×	A	延べ 1,037
	《成果と見直し》 平成28年度において、2箇所の道路整備を実施した。 引き続き、通学路等について、毎年点検し、整備が進んでいない箇所については、計画に沿って整備を実施する。						
	橋梁の長寿命化更新数（橋） ※橋梁総数 252 橋	単年 2	単年 4 延べ 4	単年 1 延べ 5	×	B	延べ 27
《成果と見直し》 今年度は、補助金の内示が少なく計画通りに実施できなかった。 今後も、重点事業として実施に取り組む。							

■施策③ 都市との交流・定住の促進

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	体験型修学旅行等の受入人数(人)	単年 1,719	延べ 3,468	延べ 5,876	○	A	延べ 13,000
	<p>《成果と見直し》</p> <p>過去の受入が好評だったことなどから、新規に加え、リピーター一校も増加し、それに伴い受入校数、人数ともに大幅に増加した。しかしながら、民泊家庭の高齢化により、受入れ不可能な民泊家庭が脱退する数が新規登録の民泊家庭数を上回るため、受入れ民泊家庭数が伸び悩んでおり、同じ家庭が何校も受け入れ、疲弊している状況にあるなど、登録数増加の取組が急務である。</p> <p>平成23年に8軒の民泊家庭からスタートし、平成26年度には約130軒まで民泊家庭が増えたが、その後は約100軒の登録数で推移しており、首都圏の学校を安定的に受入れるためには、30軒の新規民泊家庭を増やす必要がある。</p> <p>このことから、新たな若い家庭の発掘や新たに定年を迎える家庭なども含め、再度民泊事業について周知し、全市的な取組となるよう、意識統一をしていく必要がある。</p>						

修学旅行等受け入れ実績(平成24年度～28年度)



③子どもが生まれ、育つ江田島市づくりを進める

(i)基本目標

江田島市の教育や子育てなどの環境づくりを総合的に進めることにより、次代を担う世代の確保を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値		目標値 (H31)
		(H27)	(H28)	
合計特殊出生率	1.47 H24 数値	※人口動態統計において5年毎に数値を公表		現状より上昇
市民満足度調査の子育て支援サービスの充実の満足度 (%)	55.5	56.7	56.4	60

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 学校教育の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)	
			実績	改善・ 悪化	達成度		
広島県「基礎・基本」定着状況調査平均通過率3ポイント以上の教科の割合 (%)	57.1	0	85.7	○	A	85.7	
重要業績 評価指標 (KPI)	《成果と見直し》 小学校においては、全ての教科で平均通過率3ポイント以上であった。中学校については、全ての教科で県平均通過率を上回ったものの、理科のみ平均通過率3ポイント以上には至らなかった。 今後も、「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を充実させるなど、授業改善及び学力向上対策を今まで以上に推進する。						
	ふるさとへの愛着を実感した意識調査（中学校2年生）の割合 (%)	80.7	87.4	88.1	○	A	85
	《成果と見直し》 生活科，理科，社会，総合的な学習の時間等を通して，江田島が好きと実感できるような教育を推進してきた結果，平成30年度における目標値（85.0）を上回ることができた。今後もふるさとへの愛着を実感できるような教育を推進していく。						
大柿高校の定員充足率 (%)	54.2	61.7	64.1	○	A	66.7	
《成果と見直し》 定員120人に対して，生徒数は77名（64.1%）であり，目標値である80名（66.7%）を充足していない。 このことから，事業内容を精査し，中高の教職員間の連携を図り，問題点などを洗い出し，定員充足率を目標値に近づける取組を行う。							

■施策② 子育て環境の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)	
			実績 (H28)	改善・ 悪化	達成度		
一時預かり保育の年間利用者数(人)	778	699	610	×	B	1,000	
就学前児童(3~5歳)に対する保育 園入園率(%) (4月1日現在)	86.2	89.8	95.2	○	A	99.0	
<p>【変更理由】</p> <p>一時預かり保育の年間利用者数は、入園基準となる就労時間の緩和や一部の保育園を認定こども園とすることによって保育園入園基準が緩和された。その影響により、一時預かり保育から標準入園に移行されたため、適切な指標とならなくなったため。</p>							
重要業績 評価指標 (KPI)	<p>《成果と見直し》</p> <p>就学前児童(3~5歳)に対する保育園入園率(%)は、平成27年度と比較し増加している。主な理由は、就労要件の緩和(週4日、1日6時間以上から月48時間以上)により、入園しやすくなったため。今後は、平成31年度までに保育施設の再編整備を行い、児童の受け入れ体制を整える。</p>						
	未満児(0~2歳児)の入園率(%)	26.5	33.3	26.4	×	B	50
	就学前児童(0~2歳)に対する保育 園入園率(%) (4月1日現在)	26.7	28.1	33.3	○	A	35.0
<p>【変更理由】</p> <p>上記の指標との文言を統一したこと、及び指標の基準日を4月1日現在に統一したため。</p>							
<p>《成果と見直し》</p> <p>就学前児童(0~2歳)に対する保育園入園率(%)は、平成27年度と比較し増加している。主な理由は、受け入れ態勢の整備がなされたため。今後は、平成31年度までに保育施設の再編整備を行い、受け入れ態勢を整える。</p>							

④市民満足度が高く、時代に即した「住みたいまち」をつくる

(i)基本目標

これまで暮らしてきた方や新たに移住してきた方が、「住みたいまち」と実感できる市民満足度が高いまちをつくるため、安心・快適に暮らせる地域の機能の充実を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値		目標値 (H31)
		(H27)	(H28)	
市民満足度調査の全項目平均割合 (%)	54.6	55.1	55.2	60
市民アンケート調査による江田島市への愛着があると答えた割合 (%)	62.5 H25 調査	※5年に1回の調査のため		70

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 生涯学習の充実

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	公民館類似施設の年間利用回数 (人/回)	3.29	3.47	3.60	○	A	3.6
	《成果と見直し》 若年層を中心として利用者のニーズに合った講座を取り入れた結果、利用者が増加した。引き続き、若年層の参加率向やリピーターの増加に向け、さらなる公民館の魅力発信に努める。						
	図書館の利用登録者数人口比率 (%)	46	47	49	○	A	50
《成果と見直し》 2館1室の共同企画による「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」の事業や相互貸借制度が市民に浸透したこと、2館2室どこの図書館(室)でも返還できる「借りやすく、返しやすい」環境になっていることなどにより、上昇につながった。 今後も、年齢・世代別及び障害者など利用者に応じた図書館サービスの充実に取り組む。							

■施策② スポーツの振興

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	社会体育施設の年間利用 回数（人/回）	3.53	3.91	3.86	△	A	3.8
	<p>《成果と見直し》</p> <p>施設（江田島小学校体育館）の改修工事が終わり、小学校施設を使う団体が増えたことや定期利用者の減少により、昨年度数値を下回った。</p> <p>引き続き、既存スポーツ施設の管理運営体制の強化・見直しの検討とあわせ、設備・備品などの充実を図る。</p>						
	スポーツ少年団（小学 生）の加入比率（%）	24	24	21	△	B	26
	<p>《成果と見直し》</p> <p>チーム数は変わらないが、加入者が減少した。</p> <p>今後、新規団体の加入は見込み難いため、スポーツ少年団のPRと指導者の養成支援に取り組み、現団体の団員数の増加に努める。</p>						

■施策③ 保健・医療の充実

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績 (H28)	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	がん検診受診率 (%)	胃 10.7 肺 21.9 大腸 22.1 子宮頸がん 13.3 乳がん 13.7	胃 8.1 肺 15.2 大腸 18.7 子宮頸がん 15.2 乳がん 12.7 ※暫定値	胃 9.4 肺 18.4 大腸 20.2 子宮頸がん 24.8 乳がん 21.6 ※暫定値	○	B	胃 16.0 肺 24.0 大腸 24.0 子宮頸がん 25.0 乳がん 30.0
	<p>《成果と見直し》 受診勧奨ハガキの送付等により、個別検診での受診者数が増えたことで受診率が3.3%向上した。胃、肺、大腸がん検診は、女性に比べて男性の受診率が低く全体の受診率を下げている。(胃：男性 8.6 女性 10.3, 肺：男性 15.1 女性 19.7, 大腸：男性 19.3 女性 23.7) 今後もターゲットを絞った受診勧奨をし、夫婦・家族・近所での誘い合いや、地域で「検診は必ず受けるもの」「検診を受けよう!」という気運の高まりを醸成するような取組が必要である。</p>						
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 (%)	30.6	29.5	29.0	○	A	27.0
	<p>《成果と見直し》 特定保健指導率が H26：37%、H27：28.8%と低下している。メタボ該当者数は横ばい状態である。メタボに該当しても保健指導利用率は18.5%と低いため、訪問などによる個別保健指導が必要である。</p>						
	3歳6か月児の虫歯の有病率 (%)	26.6	24.0	21.8	○	A	20.0
<p>《成果と見直し》 有病率は低下しているが、県平均 17.2% (平成 27 年度) と比べると高い状態が続いている。今後は、現状より早期 (乳児期) に介入していくことで有病率の低下を目指す。</p>							

○がん検診受診率（％） H27年度

区分		胃	肺	大腸
江田島市	男	9.2	16.1	19.3
	女	7.5	15.7	18.4
県平均	男	3.1	5.4	6.2
	女	5.3	9.6	11.7
全国平均	男	-	-	-
	女	-	-	-

○メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合（％）

区 分		H26	H27	H28
江田島市	メタボ予備軍	12.0	12.2	11.6
	メタボ該当者	18.5	17.3	17.5
県平均	メタボ予備軍	11.1	11.2	10.8
	メタボ該当者	16.9	17.0	17.6
全国平均	メタボ予備軍	10.7	10.7	10.7
	メタボ該当者	16.4	16.7	17.3

○3歳6か月児の虫歯の有病率（％）

区分	H26	H27	H28
江田島市	26.6	24.0	21.8
県平均	16.2	17.2	-
全国平均	19.05	-	-

■施策④ 高齢者福祉・介護の充実

指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
居宅サービスの年間受給者数(人)	10,659	10,788	11,030	○	A	12,790
<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>《成果と見直し》 居宅サービスの年間受給者数，要介護認定者数（H27 年度末 2,052 人→H28 年度末 2,069 人）共に増加している。 介護サービスを希望する高齢者に対して，居宅サービスの提供がある程度図れているものと考えられる。また，近年に整備を行った小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護等，新たに在宅介護を支えるサービスが追加された。しかし，介護給付費の適正化へむけ，介護予防，重症化予防を行いながら，いつまでも住み慣れた在宅での生活を支援できるよう適切なサービス利用へつなげていく。</p>						
シルバー人材センターの会員数(人)	199	203	205	○	A	230
<p>《成果と見直し》 当該センターによる新規会員加入の取組により，微増（2人）した。 市としては，会員数の維持，増加に向け，引き続き当該センターの運営費等を補助し，事業の充実化を支援していく。</p>						
住民主体の介護予防教室数(教室)	0	27	52	○	A	20→70
<p>【目標値変更理由】平成 28 年度末で，箇所数は 52 教室となり，平成 31 年度目標値を既に大きく上回ったので，目標値を上方修正する。</p>						
<p>《成果と見直し》 平成 27 年 9 月から開始した住民主体の通いの場（地域介護予防活動支援事業）は，事業開始後 1 年で先行実施する市町を抜き県内トップとなった。目標値を上方修正し，住民主体の介護予防活動の場の立ち上げや継続支援を続ける。</p>						

■施策⑤ 障害者福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	障害者等の年間相談支援者数（人）	障害者 193 障害児 24	267 29	309 34	○ ○	A A	障害者 300 障害児 40
	《成果と見直し》 平成28年度に障害者に対して行ったアンケート調査では、8割の人が相談支援事業所を知らないとの回答であった。今後も広報を積極的に行い、相談支援を普及させる。						
	障害者就労施設等の市からの 年間物品等調達件数（件）	1	1	1	△	B	5
	《成果と見直し》 障害者就労施設等における公費で調達できるメニューが少ないことから、現状維持となった。今後、公費で調達可能なメニュー（庁舎等の清掃、封入作業などの事務作業）があれば、積極的に調達を検討する。						

■施策⑥ 社会福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	高齢者等に対する見守り支援 活動地区（地区）	12	12	13	○	B	17
	《成果と見直し》 平成27年度においては、活動地区を1区増やすことができた。 今後は、現在未実施地区への周知を図り、見守り活動地区を拡大させることが必要である。						

■施策⑦ 公衆衛生の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	ゴミの総排出量(t)	10,098	9,504	8,994	○	A	8,513
	《成果と見直し》 総排出量が減少した中で、刈草等は増加したものの、家庭系のゴミ量は減少するなど、減量化の効果がみられた。各種補助制度等の活用により、引き続き、ゴミの減量化を図る。						
	ゴミのリサイクル率(%)	6.8	7.3	8.0	○	A	7.7
	《成果と見直し》 小型家電リサイクルを始めたことによる資源化量の増加により、リサイクル率が向上した。各種補助制度等の活用により、引き続き、リサイクル率の向上を図る。						

■施策⑧ 自然環境の保全

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	海ゴミの年間清掃活動(件)	13	16	78	○	A	20→90
	【目標値変更理由】 地域環境保全対策費補助金を活用した、海岸漂着物等清掃業務を実施したことでH31年度目標値(20)を大きく上回ったため、目標値を上方修正(90)する。						
	《成果と見直し》 引き続き、漁協、自治会及びその他の地域団体による清掃活動を推進することで、市民に海ゴミ対策の重要性に対する関心と理解を深めて行く。						
	合併浄化槽の設置台数(台)	780	811	853	○	B	975
《成果と見直し》 H28年度については、目標とする設置台数(単年39台増)を上回った。 今後もH31年度の目標値を達成するよう、ホームページや広報を通じた補助金制度の周知により、設置促進を図る。							

■施策⑨ 大規模災害時の危機管理

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	地域防災リーダーの育成（人）	50	98	145	○	A	246
	《成果と見直し》 防災リーダー育成研修会の実施により、計画的な育成を図ることができた。 引き続き、防災リーダーの増員に向けた継続的な取組を実施する。						
	防災資機材の整備団体（団体）	5	7	11	○	A	17
	《成果と見直し》 （一社）広島県森林協会の協力により、計画的に整備を実施することができた。 今後は、市単独の取組として、計画的に整備を進めていく。						

■施策⑩ 総合的な消防体制の充実・強化

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	予防救急の普及啓発活動（件）	0	延べ 20	延べ 35	×	B	延べ 225
	《成果と見直し》 目標値を初年度 25 件、以降年間 50 件としているが、平成 28 年度までは救急指導時のみに啓発活動を行っていたため下回る結果となった。平成 29 年度から消防署が実施している自治会や事業所などを対象とした地域指導時においても、積極的に予防救急の普及啓発活動を行い、目標値を達成していく。今後も救急件数の減少につながる取組として、事業を進めていく。						
	人口 1 万人あたりの高齢者に関係する年間出火率（件）	5.93	5.11	4.46	○	A	5
	《成果と見直し》 平成 27 年と比較し、高齢者出火率を減少することができたものの、平成 28 年は、高齢者の住宅火災で死者が発生したことから、引き続き高齢者住宅防火訪問により火災予防指導を継続実施する。						

■施策⑪ 暮らしの安全確保

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	子ども見守りグループの育成(グループ)	1	2	3	○	A	6
	特殊詐欺被害額(千円)	120,000	25,460	15,900	○	A	6,000
	<p>【変更理由】子ども見守り活動は、現在、活動しているグループを、啓発活動などで活性化させることを取組みとしているが、本市の現状で、より重点を置かなければならない防犯対策は、高齢者などを対象とした特殊詐欺被害防止であるため、特殊詐欺被害額の減少を新指標とし、被害防止のための、普及啓発活動を行う。</p>						
	<p>《成果と見直し》 未遂事案発生時の至急の市内放送、市広報紙を活用した継続した広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を江田島警察署や江田島市防犯連合会と連携して行うことで、被害額は年々減少している。引き続き、防犯関係機関・団体と連携した啓発活動を行うことで、被害額の減少を図る。</p>						
	消費者被害防止等の年間啓発活動(回)	5	5	8	○	A	7
<p>《成果と見直し》 目標を上回る活動実績を行った。悪質商法や特殊詐欺など、複雑で巧妙な手口に対応すべく、今後一層の相談窓口の資質向上と、被害を未然に防止するための啓発活動を並行して取り組んで行く。</p>							

■施策⑫ 都市基盤の整備

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	法定外公共物(河川・水路)の改修補助件数(件)	単年 15	単年 16 延べ 16	単年 10 延べ 26	×	B	延べ 75
	<p>《成果と見直し》 平成 28 年度は 10 件の成果があった。今後、受益者負担による公平性の観点から、制度に課題がないか検証を行いながら、引き続き当該補助事業の執行に取り組んでいく。</p>						

■施策⑬ 生活基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	市営住宅の改修戸数（戸）	単年 10	延べ 15	延べ 20	○	B	延べ 42
	《成果と見直し》 計画どおり改修を実施することができた。今後も、計画どおり事業を進めていく。※単年実績は減少しているが、計画どおり進捗している。						
	インターネットの加入率（％）	35.7	41.2	42.1	○	A	44.6
	《成果と見直し》 順調に上昇している。引き続き、加入率の上昇に向けた啓発に取り組む。						

■施策⑭ 生活交通の確保













	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	航路利用者の前年比減少率（％）	△4.2	△4.3	△2.8	○	A	△3.5
	《成果と見直し》 平成 28 年度の数値は良化した。市内の建設工事増加に伴うフェリー利用増が要因と思われる。引き続き、海上交通と陸上交通との連携や陸上交通の見直しなどを実施し、適切な地域公共交通へ再編することで、目標値達成を目指す。						
	路線バスの年間利用者数（万人）	70	48	48	△	B	70
	《成果と見直し》 人口減少等の影響により、利用者数の改善にまでは至っていないが、公共交通マップの作成やバスロケーションシステムを導入し、利用環境の改善を図った。引き続き、公共交通機関の利用を促す取り組みを進める。						

■施策⑮ コミュニティの振興

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	H28			目標値 (H31)
				実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	まちづくり協議会の設置数（協議会）	8	9	14	○	A	14→19
	【目標値変更理由】 平成31年度目標値（14）を達成したため、目標値を上方修正（19）する。						
	《成果と見直し》 新たに、5 協議会が設置され、地域運営組織の基盤づくりが進展した。今後は、まちづくり協議会未設置地域への働きかけを継続し、組織づくりや活動の充実による地域の活性化を図る。						
	地域提案型活動支援補助金の申請数（件）	単年 3	延べ 12	延べ 21	○	A	延べ 39
《成果と見直し》 申請数は昨年度と同数であったが、より特色があり、地域振興に資する企画が増えており、地域住民の自主的な活動の後押しができ、地域の活性化に一定の成果が認められる。引き続き、制度の周知に努め、地域活動の掘り起しや、活動意欲の向上を促していく。							

【参考】数値目標の進捗状況(目標指標・KPI) ※抜粋

[創業・起業の年間件数] 目標 12 件(H31)  3 件(H26)→10 件(H28)	[農・水産業の担い手の育成] 目標延べ 11 人(H31)  延べ 2 人(H26)→延べ 7 人(H28)	[有害鳥獣による農作物年間被害額] 目標 20,000 千円(H31)  22,585 千円(H26)→20,975 千円(H28)	[オリーブ栽培の面積] 目標 35.0ha(H31)  22.6ha(H26)→26.1ha(H28)
[企業立地奨励制度の申請数] 目標延べ 5 件(H31)  1 件(H26)→延べ 2 件(H28)	[年間総観光客数] 目標 69 万人(H31)  54 万人(H26)→54 万人(H28)	[市道の整備延長] 目標延べ 1,037m(H31)  218m(H26)→延べ 645m(H28)	[体験型修学旅行の受入件数] 目標延べ 13,000 人(H31)  1,719 人(H26)→延べ 5,876 人(H28)
[基礎基本定着状況調査平均通過率] 3ポイント以上の教科の割合 目標 85.7%(H31)  57.1%(H26)→85.7%(H28)	[大柿高校の定員充足率] 目標 66.7%(H31)  54.2%(H26)→64.1%(H28)	[就学前児童(3~5歳)保育園入園率] 目標 99.0%(H31)  86.2%(H26)→95.2%(H28)	[スポーツ少年団(小学生)の加入比率] 目標 26%(H31)  24%(H26)→21%(H28)

<p>[がん検診受診率]</p> <p>目標 胃 16%, 肺 24%, 乳がん 30% (H31)</p>  <p>胃 10.7% (H26) → 9.4% (H28)</p> <p>肺 21.9% (H26) → 18.4% (H28)</p> <p>乳がん 13.7% (H26) → 21.6% (H28)</p>	<p>[メタボ及び予備軍該当者の割合]</p> <p>目標 27.0% (H31)</p>  <p>30.6% (H26) → 29.0% (H28)</p>	<p>[住民主体の介護予防教室]</p> <p>目標 70 教室 (H31)</p>  <p>0 教室 (H26) → 52 教室 (H28)</p>	<p>[高齢者に対する見守り支援活動地区]</p> <p>目標 17 地区 (H31)</p>  <p>12 地区 (H26) → 13 地区 (H28)</p>
<p>[ゴミのリサイクル率]</p> <p>目標 7.7% (H31)</p>  <p>6.8% (H26) → 8.0% (H28)</p>	<p>[海ゴミの年間清掃活動]</p> <p>目標 90 件 (H31)</p>  <p>13 件 (H26) → 78 件 (H28)</p>	<p>[地域防災リーダーの育成]</p> <p>目標 246 人 (H31)</p>  <p>50 人 (H26) → 145 人 (H28)</p>	<p>[市営住宅の改修戸数]</p> <p>目標延べ 42 戸 (H31)</p>  <p>10 戸 (H26) → 延べ 20 戸 (H28)</p>
<p>[航路利用者の年間減少率]</p> <p>目標△3.5% (H31)</p>  <p>△4.2% (H26) → △2.8% (H28)</p>	<p>[路線バスの年間利用者数]</p> <p>目標 70 万人 (H31)</p>  <p>70 万人 (H26) → 48 万人 (H28)</p>	<p>[まちづくり協議会の設置数]</p> <p>目標 19 団体 (H31)</p>  <p>8 団体 (H26) → 14 団体 (H28)</p>	<p>[地域提案型活動補助金の申請数]</p> <p>目標延べ 39 件 (H31)</p>  <p>3 件 (H26) → 延べ 21 件 (H28)</p>